

贅沢貧乏

わかるうとは
おもっているけど

ZEITAKU BINBOU
“I’m Trying to Understand You, But”

Written and directed by Yuri Yamada, Music by Yuumi Kanemitsu
with Minami Ohba, Masayuki Yamamoto,
Mayu Sakuma, Konomi Otake, Sachiko Aoyama

作・演出：山田由梨
音楽：金光佑実



大場みなみ 山本雅幸 佐久間麻由 大竹このみ 青山祥子

2025.11.7 FRI - 11.16 SUN
東京芸術劇場 シアターイースト

11月	7金	8土	9日	10月	11火	12水	13木	14金	15土	16日
14:00		◇	◇◆		休演日	◇★	◇		☆	◇★
19:00	◇			◇			◇	◇		

※開場は開演の30分前より ※上演時間約70分

- ◇…英語字幕付(with English surtitles) English information available here▶
- ◇…ポストトークあり。開催回のチケットをお持ちの方がご参加いただけます。
- ◇…収録のため客席内にカメラが入ります。
- ◆…終演後、贅沢貧乏劇団員とお客様による感想おしゃべりあり。別途参加費要。
- ★…視覚に障がいのある方への鑑賞サポート(上演前タッチツアー)あり。
- ☆…聴覚に障がいのある方への鑑賞サポート(日本語バリアフリー字幕)あり。



舞台鑑賞サポートのご案内
鑑賞料金(税込):¥3,000(介助者1名無料)
すべてのお申込み:zeitaku.binbou@gmail.com
050-7107-2546(平日10:00-17:00)
※ご鑑賞日の3日前までに要予約 ※当日受付にてお支払

★視覚をもたない方、みえづらい方
・事前の音声解説(データをメールにて送付)
・上演前タッチツアー(11月12日(水)14:00回、11月16日(日)14:00回)
舞台美術を中心とした作品のコンセプトを感じることができる「タッチツアー」を開催50分前から開催いたします。

☆聴覚をもたない方、きこえづらい方
・日本語バリアフリー字幕回(11月15日(土)14:00回)
・全日程でヒアリンググループ(磁気ループ)が作動します。
ヒアリンググループ作動範囲の座席を確保いたします。

●車いすをご利用の方[定員制]
客席中扉付近に車いすスペースがございます。

託児サービスのご案内 [有料・定員制・要事前予約]
料金:2,200円 対象:生後3カ月~小学校入学前までのお子様対象
予約方法:土・日・祝祭日を除くお預かり日1週間前までに
託児予約フォームまたはお電話でご予約ください。
電話:株式会社明日香 0120-165-115(平日9:00~17:00)
託児予約フォーム:https://ws.formzu.net/dist/S11738210/

主催:贅沢貧乏/株式会社ation
提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
助成:公益財団法人セゾン文化財団 芸術文化振興基金
CONTACT:贅沢貧乏 zeitaku.binbou@gmail.com
050-7107-2546(平日10:00-17:00)



公演web

TICKETS 整理番号付自由席(税込)
[一般] ¥4,000 [ペア] ¥7,500
[29歳以下] ¥3,000 [18歳以下] ¥500

※未就学児はご入場いただけません。
※29歳以下・18歳以下は枚数限定。当日要証明書。

チケット発売日

8月31日(日) 劇団先行 ※Live Pocketのみ取扱
9月6日(土) 芸劇メンバーズWEB先着先行
9月7日(日) 一般発売

チケット取扱

〈Live Pocket〉※電子チケット ※クレジット決済のみ
https://t.livepocket.jp/t/zeitakubinbou2025

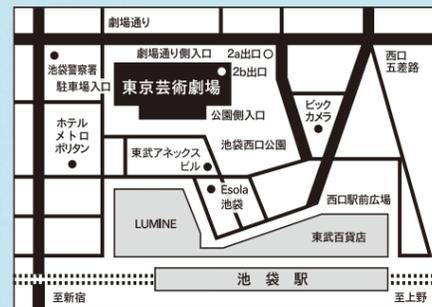
〈東京芸術劇場ボックスオフィス〉
0570-010-296
(土日祝日を除く10:00~17:00) ※9月6日(土)より休館日を除く10:00~19:00
http://www.geigeki.jp/t/
※24時間受付(メンテナンスの時間を除く) 窓口:9月6日(土)より再開

〈チケットぴあ〉(セブンイレブン店舗)
https://t.pia.jp/ [Pコード:536483]

〈ローソンチケット〉(ローソン、ミニストップ店内Loppi)
https://l-tike.com/ [Lコード:35564]

〈演劇最強論-ing〉
https://www.engekisaikyoron.net/

ACCESS 東京芸術劇場



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線
池袋駅西口より徒歩2分。駅地下通路2b出口直結。

わかるうとは
おもっているけど

I'm
Trying to
Understand
You, But

贅沢貧乏



わか
か
お
も
っ
て
い
る
け
ど

STORY

テル(大場みなみ)とこうちゃん(山本雅幸)はどこにでもいるような普通のカップル。
あるとき、テルが妊娠した、という出来事から空気が変わり始め、
テルの友達(佐久間麻由)やなぜか家にいる
メイドたち(大竹このみ・青山祥子)を巻き込んでゆく。
「女性」と「男性」の「わかりあえなさ」を
「わかりあおう」とした先にあるものとは――。



『わかれはもうおもっているけど』2019年初演 BUKATSUDO HALL(横浜)

2019年にTPAM fringe作品として初演され、2022年フェスティバル・ドートンヌ公式プログラムとしてフランス・パリ日本文化会館にて上演した『わかれはもうおもっているけど』。
パリの観客から「妊娠という問題を通して、日本が抑圧的な社会構造を脱却できないことに疑問を投げかけている」「リアリズムと不条理の境界線で、現代日本に立ちあがる家父長的規範をあぶり出している」など好評を博した贅沢貧乏のマスターピースを劇団初の国内ツアーとして東京・久留米・札幌で上演いたします。

観劇をご検討される方へ

本作品には、パートナー間の性暴力を想起させる描写がございます(直接的な描写はございません)。フラッシュバック等のご不安がある方には、戯曲データを事前にお送りいたします。ご希望のお客さまはお問い合わせください。また観劇にご不安がある方、途中退席しやすい通路側のお席を希望される方、そのほか必要なサポートがある方はzeitaku.binbou@gmail.comまでご相談ください。可能な限りスタッフがサポート・お手伝いいたします。

TOUR INFORMATION

東京 11.7 fri - 11.16 sun
東京芸術劇場 シアターイースト
久留米 12.6 sat, 12.7 sun
久留米シティプラザ Cボックス
札幌 12.13 sat, 12.14 sun
クリエイティブスタジオ(札幌市民交流プラザ3階)

STAFF

音楽: 金光佑実 美術: 中村友美 照明: 吉田一弥 音響: 星野大輔
衣裳: 藤谷香子・山口大樹 稽古進行: 中村未希 舞台監督: 湯山千景
収録: 須藤崇規 宣伝美術: 柴田リオ 宣伝写真: 川面健吾
プロデューサー: 堀朝美 企画制作: 贅沢貧乏 / 株式会社ation

COMMENTARY

作家・演出家・俳優である山田由梨は、フェミニストでもある。
彼女は男女を隔てるもの、つまり妊娠というテーマを、ユーモアと聡明さをもって作品化した。この東京出身のアーティストは、現在と近未来の境に演劇のスタイルを設定し、想像を超えたシーンや仮説を提唱する。
洋風のリビング。少し離れた距離で若いカップルが会話している。冗談を交えた、やや距離感のあるやり取りは、言葉にされないものをごまかす雑談のように聞こえる。そう、ここで女性は、自分が妊娠したことを相手に伝えられないのだ。この作品はリアルな会話劇とファンタジーの世界との間を自由に行き来しながら、主人公の内面に渦巻く葛藤を複数の女性キャラクターに分散する形でモザイク状に描き出す。
俳優たちはどこか面白おかしく、ときには室内のドタバタ劇のような演技をするのだが、悲喜劇の苦味も見せてくる。それは、お菓子箱のように柔らかいヴィジュアルの美術との対比を生む。そして舞台上には見えるものと見えないもの、リアルと象徴といった要素が共存する。
劇中の絶妙に計算されたズレ、そして意外な結末を通し、山田由梨はパラドクスの手法を立ち上げる。その手法をもって山田は見事に、私たちが想像する以上に男性中心的な社会である今の日本、その中に生きるカップルの現実を万華鏡のごとく映し出すのだ。

メラニー・ドゥルエル
フェスティバル・ドートンヌ(フランス・パリ)2022年 プログラムより

贅沢貧乏
過去作品
オンライン
配信!

贅沢貧乏の最新作
『おわるのをまっている』(2024年)ほか
過去作品Vimeoにて有料配信中。
ご自宅ですっきりお楽しみいただけます!
視聴方法: レンタル購入後7日間視聴可能です。



贅沢貧乏主宰・山田由梨による

“わかおも” 3 Tips



山田由梨
(作家・演出家・俳優)
Yuri Yamada

1992年東京生まれ。立教大学在学中に「贅沢貧乏」を旗揚げ。全作品の作・演出を務めるほか、ドラマ脚本・監督、小説・コラム執筆も手がける。『フィクション・シティ』(17年)、『ミクスチュア』(19年)で岸田國土戯曲賞ノミネート。セゾン文化財団セゾンフェロー。21年、23年、25年にながわ短編演劇アワード 県内高校生選抜大会 審査員、25年にせんがわ劇場演劇コンクール 専門審査員を務める。主な担当ドラマに、Abema TV「17.3 about a sex」「30までにとらさくて」脚本、NHK夜ドラ「作りたい女と食べたい女」脚本。WOWOW「にんげんこわい」シリーズでは脚本・監督として参加。Podcast「山田由梨の眠れないなら茶をのんで」がSpotifyにて配信中。Instagram @yamadayuri_v

この作品をつくろうと思ったきっかけは何ですか?

この脚本を書いた27歳当時、今後自分は妊娠・出産・子育てをする可能性があるのだろうかと考え始めた時、政治家による「女は産む機械」発言に現れるこの国に根付く女性蔑視や、日本のジェンダー格差が、今までよりも自分ごとと感じられたことがきっかけでした。そこから妊婦や母を神聖視することへの違和感や、妊娠出産にまつわる男女の不均衡に焦点を当て、自分の言葉で考え表現したいと思い作品を作りました。

贅沢貧乏作品の特徴であるポップな舞台美術やヘアメイク・衣裳はどのようにつくられていますか?

ヘアメイクは、スケッチブックに登場人物のイラストを描いていた時にふと思いつきました。特にメイドの役は、現実とは違う不思議な世界観にしたいと思っていました。今回はビジュアル面でも演出面でも、初演から進化した、パリ上演時の新バージョンでお届けします!初演を見た方もきっと新鮮に楽しんで頂けると思います。

観劇を検討しているお客様にひとこと

フェミニズムをテーマにしている作品ですが、多くの人に楽しんでいただけるやさしい作品になっています。妊娠出産だけでなく日々の家事の分担のことなど生活の身近なことも話題になります。初演時には友達やパートナーと一緒に観に来て、感想の話し合いが盛り上がった方も多かったようです。あなたがどんな感想を持つのか知りたいです!

About 贅沢貧乏

2012年旗揚げ、東京を拠点とする劇団。山田由梨が全作品の作・演出を務め、俳優の大竹このみ・田島ゆみか・青山祥子、制作の堀朝美の5名が所属。舞台と客席、現実と異世界、正常と狂気の境界線をシームレスに行き来しながら、現代の日本社会が抱える問題を奔放な想像力と多彩な手法でポップに浮かび上がらせる作風を特徴とする。2014年より一軒家やアパートを長期的に借りて創作・上演する「家プロジェクト(uchi-project)」の活動を展開。『みんなよるがこわい』(2015年初演)の中国版が中国全土を巡回、『わかれはもうおもっているけど』(2019年初演)が2022年フェスティバル・ドートンヌ公式プログラムとしてパリで上演されるなど国内外で活動の幅を広げている。
Instagram @zeitakubinbou

ZEITAKU BINBOU HISTORY

- 2012 山田由梨20歳のときに一人芝居で旗揚げ。在学中から積極的に学外の劇場で公演活動を行う。
- 2014 大学卒業後、江東区の一軒家やアパートで「家プロジェクト(uchi-project)」を開始。二階建ての家の中を歩きまわって観劇する『ヘイセイ・アパートメント』で話題を呼ぶ。
- 2016 史上最年少で芸劇eyes単独公演に登場、『フィクション・シティ』を上演。岸田國土戯曲賞にノミネート。『みんなよるがこわい』で劇団初の海外ツアー。
- 2018 中国版『みんなよるがこわい』を創作・初演。以降2023年まで中国全土を巡回。
- 2019 『わかれはもうおもっているけど』『ミクスチュア』初演。
- 2022 『わかれはもうおもっているけど』パリ公演。コロナ禍で2度の中止延期を経て実現。全5公演が満席!
- 2024 最新作『おわるのをまっている』をシアターラムにて上演。
- 2025 『わかれはもうおもっているけど』で劇団初の国内ツアー!



『スーパーミラー』(2012年) 大学のお休みに一人芝居を上演!



『ヘイセイ・アパートメント』(2016年) 東京の下町で生きる女性2人の物語! アパートの1室での超至近距離演劇!



『フィクション・シティ』(2017年) 自然と切り離された人間中心世界へのアンチテーゼを描き 生まれた群像劇で初の公共劇場公演!



『みんなよるがこわい』(2017年) 眠れない夜の孤独をコミカルに描き ツアー先の中国で連日満席に!



中国版『みんなよるがこわい』(2018年) 現地の俳優をオーディションしてダブルキャストで上演!



『ミクスチュア』(2019年) 自然と切り離された人間中心世界へのアンチテーゼを描き 再び岸田國土戯曲賞ノミネート!



『おわるのをまっている』(2024年) 異国のホテルで繰り広げられる“うつコメディ”で人間の「不調」を描く。

https://zeitakubinbou.com/



「200年後にはどうなるようになる?」

演劇でまなぶフェミニズムのやさしい入門書